

私の探鳥地（10）（野鳥だより 74号 1988年12月）

豊平公園緑のセンター（札幌市豊平区）

戸津 以知子

かつての林業試験場跡地が現在の豊平公園緑のセンター（7・411a）で近くに36号線が走り、静かな森林・・・と言った所では有りませんが我家からは自転車で5～6分の所なので双眼鏡一つを持って私は気ままな鳥見にしばしば足を運んでいます。どのコースをどう歩くと云う事もなく、鳥の声のする方、花の咲いている方へ自然に足が向くといった、至って気軽に”ミニウォッチソグ”の出来る所です。



豊平公園緑のセンター園内マップ

ヒヨドリ、シジュウカラ、ハシブトガラ、アカゲラ等の留鳥はだいたいいつも見る事が出来ます。花もとても綺麗ですし、狭いながらも針葉樹林、白樺、カラマツ、カツラ、エンジュ等の大きな樹林が公園の中に適当な間隔で配置されているせいか、木に止まっている鳥の姿を比較的簡単に見る事が出来ます。キビタキ、オオルリ、センダイムシクイ、メジロ、コサメビタキと言った夏鳥、又イスカ、ツグミ、キレンジャク、マヒワ等の冬鳥を見る事も出来ます。街？の中だけに森林よりも早く姿を見せ、結構遅くまで居る様に思いました。一昨年マヒワ、ベニヒワの300羽近くの群に偶然出合った時、ルリビタキ（オス2メス3）を公園内で見た時は感激し、数日間プロミナを持って毎日通う羽目になりました。どの鳥も各々園内の同じ場所に数日間は居る様で、ごく真近で愛らしい様子が見れるのも楽しいものです。

キクイタダキとヒガラが戯れる針葉樹林帯も見本園らしく小規模なので実によく観察出来ますし、ミソサザイが温水プール横にある公園の石段の上に、例の尾を上にしたスタイルでちょこんといたり、思い掛けない出会いにうれしくなります。時にはオオルリとキビタキの追いかっこなども見られ、どちらに応援する訳にもいかず、しばし鳥の世界を眺めています。春先にはオスばかりが目についたオオルリも9月末から10月初めには数がふえメスも幼鳥とおぼしきも数羽が飛び交い、一生懸命、餌を探すとといった光景に出合う事もあります。冬は餌台を作りコースもついている様ですがスキーがなければ無理の様で行った事がなく、今度一度行って見ようと思っている所です。

しかし最近、囲りにマンションの波が押し寄せ、又公園内もすっかり綺麗に整備され、下枝が払われ、積み上げられていた枯葉は、取り除かれ、赤い実をつけていた灌木もいつの間にか見あたらなくなると云った具合で雑々とした中にほんのりと自然の臭いの残っている所が気に入っていた私は、そのせいか公園内で見られていた留鳥の種類も以前に比べ少なくなって来ている様でこの所、行くたびにがっかりしてしまいます。園内をひと回りしても30~40分くらいで廻れますので短時間での“バード&フラワーウォッチング“を楽しんでいます。寒い時には緑のセンター内の温室で(月曜日休館)花を見ながら暖を取る事も出来ます。

85年4月以降見た鳥

トビ、ハイタカ、チゴハヤブサ、キジ、キジバト、カッコウ、アカゲラ、オオアカゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、キレンジャク、ヒレンジャク、ミソサザイ、ルリビタキ、クロツグミ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、センダイムシクイ、キクイタダキ、キビタキ、オオルリ、コサメビタキ、エナガ、ハシブトガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、キバシリ、メジロ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、マヒワ、ベニヒワ、ギンザンマシコ、イスカ、ウソ、イカル、シメ、スズメ、コムクドリ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ドバト(以上49種)